

ごうつ

市議会だより

題字：島田 しまだ 拓海 たくみ さん（川波小学校6年）



2018.8
No.136

議会の『新体制』決まる

6月議会定例会

平成30年6月定例会が、6月11日から25日までの15日間の日程で開かれました。改選後の初議会であり、正副議長選挙が行われ、議長に森脇悦朗議員、副議長に永岡静馬議員が選出されたほか、監査委員に石橋孝義議員が選出されました。更に、各常任委員会、議会

運営委員会を構成するメンバーも決まりました。

議案審議では、市長提出議案14件、議員提出議案5件も原案通り可決・同意されました。

一般質問は、12名の議員が市政全般にわたり、市長の考えをただしました。

平成30年6月(第2回)議会定例会日程

- 6月11日 **本会議**
議長・副議長・組合議会議員選挙、
委員選任、表彰伝達
議案上程－提案説明－質疑・討論・採決
- 14日 **本会議**
議案上程－提案説明－質疑・討論・採決
議案上程－提案説明－質疑－委員会付託
一般質問
- 15日 **本会議**
一般質問
- 18日 総務文教委員会
19日 建設厚生委員会
20日 予算委員会
25日 **本会議**
委員長報告－質疑・討論・採決

正副議長選挙 投票結果

- | | |
|-----------|-----------|
| ○議長選挙 | ○副議長選挙 |
| 投票総数 16票 | 投票総数 16票 |
| ・森脇悦朗 12票 | ・永岡静馬 12票 |
| ・森川佳英 2票 | ・多田伸治 2票 |
| ・無効票 2票 | ・無効票 2票 |

正副議長就任あいさつ

この度議員の皆様のご推挙により、市議会議長の栄職に就かせていただくことになり、光栄に存じますとともに、その責務の重さを深く受け止めております。

本市においては様々な課題が山積する中、人口減少社会における地方創生の取り組みにより策定された「江津市版総合戦略」の確実な推進による未来永劫続く江津市の実現、そして誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現のため、市民の負託に応えることのできる市議会を目指すとともに、二元代表制の一翼を担う議会の持つ監視機能を強化すること、政策立案能力向上に向けた取り組みを進めていきたいと思っております。

また、考えることを行うこと、すべては「人」が大事であります。議長として公正かつ円滑な、血の通った議会運営を心掛け、誠心誠意努力いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



議長 森脇 悦朗

この度、改選後の市議会定例会におきまして、多くの議員からご支持をいただき、副議長に選任いただきました。身の引き締まる思いであります。

江津市をとりまく課題は多くありますが、とりわけ「人口減少問題」そしてそれに連動する「持続可能なまちづくり」が最大の課題であると考えます。この課題を乗り越えるため、浅学非才の身ではありますが、市執行部との適切な連携のもと、議長を補佐し健全で発展性のある議会運営に微力を尽くしてまいりたいと思っております。

そして、市民の皆さまの負託に応えるべく尽力してまいりますので、どうぞご支援・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



副議長 永岡 静馬

常任委員会

総務文教委員会

◎坪内涼二 ○田中利徳
 坂手洋介 森川和英 多田伸治
 藤間義明 藤田 厚 永岡静馬

委員長あいさつ

総務文教委員会の所管は、地域振興・防災・財政・教育など広範囲にわたります。これまで継続して行ってきた学校訪問に加え、地域コミュニティなどへの訪問を行い、本市の抱える課題の解決に向け、しっかりと調査研究を行いたいと思います。



建設厚生委員会

◎鍛冶恵巳子 ○河野 正行
 植田 好雄 山根兼三郎 森川 佳英
 森脇 悦朗 石橋 孝義 田中 直文

委員長あいさつ

この度建設厚生委員会委員長に選任いただきました。当委員会の所管は、福祉、子育て、健康対策をはじめ、農林水産・商工・土木建設・水道と市民生活に関わる広範囲です。所管に関する様々な取り組みをしっかりと調査し、委員会メンバーで協力して市民の皆さんの負託に応えられる委員会になるよう努力してまいります。



予算委員会

◎藤間 義明 ○坪内 涼二
 議長及び監査委員を除く議員 14名

委員長あいさつ

この度、予算委員長に選任いただきました。本市は国の財源に多くを依存しており、今後ますます厳しい財政運営を余儀なくされることは明白です。今後の予算審査は事業について、見直しや財源の確保、効果をしっかりと見定め、市民の皆様の負託に応える委員会となるよう努力してまいります。



議会運営委員会

◎田中 直文 ○田中 利徳
 植田 好雄 多田 伸治 河野 正行 永岡 静馬

特別委員会

地域医療対策特別委員会

◎藤田 厚 ○河野 正行
 森川 和英 鍛冶恵巳子 田中 利徳 森川 佳英

波積ダム対策特別委員会

◎石橋 孝義 ○田中 直文
 坂手 洋介 森川 和英 多田 伸治 藤田 厚

市庁舎建設調査特別委員会

◎河野 正行 ○鍛冶恵巳子
 植田 好雄 多田 伸治 藤間 義明 石橋 孝義
 永岡 静馬

市議会だより編集特別委員会

◎鍛冶恵巳子 ○坂手 洋介
 植田 好雄 多田 伸治 山根兼三郎 河野 正行
 永岡 静馬

広報広聴特別委員会

◎田中 利徳 ○坪内 涼二
 森川 和英 森川 佳英 藤間 義明 石橋 孝義
 藤田 厚 田中 直文



市長選後の肉付け予算として、 緊急に必要となるものを計上

予算総額 **144億8295万円** (2億3995万円を追加)

担い手育成対策事業

4099万円

市内の認定農業者に対する、農業用ハウスなどの整備費補助。

質問

- 問** 販路の拡大の支援の見通しは。
- 答** 6次産業の販路開拓の中で支援する。



整備の進む農業用ハウス(二宮町)

水産業振興事業

2300万円

江川漁業協同組合が整備する「アユの種苗生産施設」に対する補助。

質問

- 問** どのような効果があるのか。
- 答** 島根県全体への供給量が現在の約75%からほぼ100%になる。



老朽化の激しい現在の施設(敬川町)

地域医療支援対策事業

1億円

済生会江津総合病院に対する経営支援補助。

質問

- 問** 補助の目的は、非常勤医師の確保と赤字補てんとあるが、補助の内訳は。
- 答** あくまで済生会江津総合病院に対して、本市が財政的に支援できる金額。細かい経費を積み上げたものではない。

小学校施設耐震化事業

759万円

渡津小学校の屋内運動場の耐震補強設計委託費。

委員会 ピックアップ



建設厚生委員会

●市道の路線の廃止・認定に関する条例

江津工業団地内における追加造成に伴い、市道の一部に関して、島根県へ移管するにあたり、路線の廃止および新たに認定するもの。

委員質問

- 問** 追加造成に伴って島根県へ市道の一部を移管するということだが、将来的な予定はあるのか。
- 答** 島根県へ移管する区間は将来的には工場敷地内になるものと聞いています。
- 問** 工業団地は県営なのだから、市道として再認定する部分も合わせ県へ移管することはできないのか。
- 答** 工業団地内の区画道路については市道として管理していくものと認識しています。

●委員会

議会で審議される案件は、民生、建設、教育、予算など幅広い分野にわたっています。そこで、これらをいくつかの部門に分けて、専門的、能率的に審査・調査するために委員会を設置しています。

委員会には、常に設置されている常任委員

会、議会運営委員会と必要に応じて設置される特別委員会があります。江津市議会では、三つの常任委員会を設置しています。

また、議員は必ず1つの常任委員会に所属することになっています。

総務文教委員会（8人）

政策企画課の所管に関すること
総務課の所管に関すること
財政課の所管に関すること
人事課の所管に関すること
税務課の所管に関すること
会計課の所管に関すること
教育委員会の所管に関すること
選挙管理委員会の所管に関すること
監査委員の所管に関すること
公平委員会の所管に関すること
固定資産評価審査委員会の所管に関すること
他の委員会の所管に属しないこと

建設厚生委員会（8人）

社会福祉課の所管に関すること
子育て支援課の所管に関すること
健康医療対策課の所管に関すること
市民生活課の所管に関すること
保険年金課の所管に関すること
人権啓発センターの所管に関すること
農林水産課の所管に関すること
商工観光課の所管に関すること
土木建設課の所管に関すること
都市計画課の所管に関すること
水道課の所管に関すること
下水道課の所管に関すること
農業委員会の所管に関すること

予算委員会（14人）

予算の議案に関すること

本会議における賛成・反対意見

議案第37号 | 平成30年度一般会計補正予算(第2号)



反対 多田 伸治

補正予算案には、済生会の非常勤医師の人件費と赤字補てんとして1億円が計上されているが、市長は予算委員会の審査で内訳を示さなかった。税金が投入されても済生会の院内改革は進まず、市民には大きな不満がくすぶっている。そういった状況で、ドンブリ勘定のような予算計上は許されないため、予算案に反対。

賛成 藤田 厚

この補正予算は、本市の医療を担う済生会江津総合病院への支援や農業・水産業の振興、また萩・石見空港利用促進対策費など、市民生活に直結する予算。とりわけ常勤医師の減少などにより診療や経営に苦慮している済生会江津総合病院への補助は、地域の医療を守るために必要な予算であり、賛成。

○:賛成 ●:反対 斥:除斥

議決結果			坂手	植田	森川	坪内	鍛治	田中	多田	山根	森川	藤間	石橋	河野	藤田	田中	永岡	森脇	
			洋介	好雄	和英	涼二	恵巳子	利徳	伸治	兼三郎	佳英	義明	孝義	正行	厚	直文	静馬	悦朗	
市長提案	議案番号	件名	議決結果																
		同意 第4号 監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		同意 第5号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		承認 第1号 専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		承認 第2号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		承認 第3号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		承認 第4号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第35号 市道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議案第36号 市道の路線の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第37号 平成30年度島根県江津市一般会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提案	議案第30号 特別委員会の設置・委員の選任について(地域医療対策)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第31号 特別委員会の設置・委員の選任について(波積ダム対策)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第32号 特別委員会の設置・委員の選任について(市庁舎建設調査)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第33号 特別委員会の設置・委員の選任について(市議会だより編集)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第34号 特別委員会の設置・委員の選任について(広報広聴)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長職は表決権なし



一般質問

市議 の

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。



※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見るができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

市の A & Q

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

A.Q.

公共下水道については、使用料収入で賄うのが基本。使用料改定も検討。

A.Q.

済生会江津総合病院については、済生会江津総合病院、済生会本部、島根県、本市が一体となって対策を進める。

A.Q.

農業の6次産業化、有機農業の推進については、地域資源を活用した高付加価値な農業の展開と所得向上を図る。有機農業実践者は、142人から200人へ拡大している。

A.Q.

企業誘致については、産業振興なくして、地域の活性化はない。その理由は、生業が成り立たなければ、人はそこに住めないから。

A Q

水滴穿石
(みずしたたりて、いしをうがつ)

今後4年間の市政運営の考え方は



江津商工会議所であいさつする
山下修市長

※水滴穿石の意味は、軒から滴り落ちる雨の滴も、たえず同じな所に落ち続けると、石に穴をあけることができることから、根気強く続けるれば、目的を達成することができるということ。

A.Q.

県西部地震への対応は。本市では震度4を観測。職員初動マニュアルに基づき、副市長、教育長以下全管理職及び総務課、桜江支所職員が出勤し、朝まで常駐した。

【地震対策について】



河野 正行

Q

本市の特色ある
子育て支援は

A

子育てサポートセンター
を土日開所するとともに
保育所での待機児童ゼロ
を継続している

Q. 子育てサポートセンターの利
用状況は。

A. 子育てサポートセンターの
利用者数は、

平成26年度では6173人、
平成27年度では5793人、
平成28年度では6697人、
平成29年度では7691人と
利用者が増えてきている。

Q. 企業が子育て支援体制づくり
の必要性を理解していく取り
組みは。

A. 平成29年度から企業のトッ
プが赤ちゃん登校日を参観
する取り組みを進めており、
子育て支援の必要性を理解
し、企業が従業員の子育てを
積極的に応援する機運の醸
成を図っている。



藤間 義明

A. Q.

保育士不足への対応は。

保育所への情報提供や、新た
に就業した保育士への助成、
保育士の仕事の魅力化など
の取り組みを行っている。



土日の利用者が多い子育てサポートセンターでの1コマ

Q

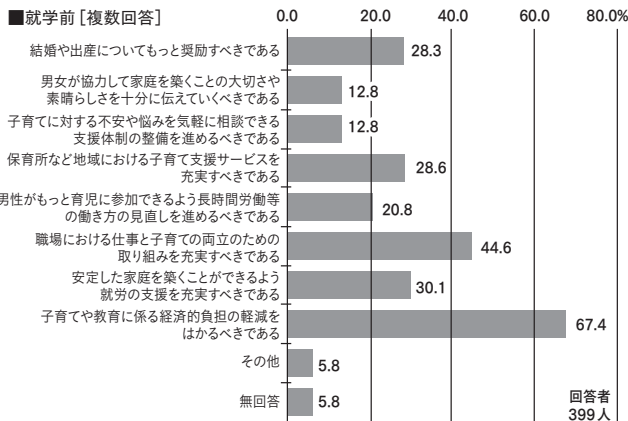
就学前の子育てに
経済的支援を

A

国の制度改正に合わせて
保育料の軽減を行う

Q. 平成31年10月からの国の就
学前の子どもの保育料無料
化を、本市が前倒しして行っ
た場合の費用負担は。

A. 市民税非課税世帯の保育料
を無償とした場合、本市の費
用負担の見込み額は、4月か
ら9月までの半年間で約5
700万円になる。



平成25年に行われた子育てニーズ調査の結果

Q



山根 兼三郎

【市からの発注】

Q. 公共事業発注の際、市内の業
者に下請けなどで仕事がま
わっていくような配慮を。

A. 発注段階から可能な限り地
元業者が下請けに参入でき
るよう努める。

Q. 学校で使う教材・図書の間
合は。

A. 毎年、各学校を対象にした
「配分予算の執行にかかる説
明会」でお願いしており、可
能な限り対応していく。

Q 国道261号線の今後の整備への本市の取り組みは

A 改良は不可欠であり、未整備区間・新規区間の早期着手を要望する

Q 市道新山中線の復旧の見通しは。

A

ボーリング調査・土質調査を行った上で、地すべりの専門家の意見を聴取し、8月頃に再度国土交通省と復旧工法についての事前協議を行う。年内には災害査定を受け、年度内での復旧工事の完成を目標としている。

Q 県道の大田桜江線と桜江金城線の進捗は。

A

県道大田桜江線は平成32年度末に完成予定。県道桜江金城線は平成33年度中の完成を目標に、県が事業推進を図っている。これに関連して川戸駅前の線形改良を、県への重点要望に掲げる。



藤田 厚



5月7日に崩落した国道261号線の現場

Q 障がい者福祉の現状と課題は

A 地域生活移行や就労継続支援などが課題

Q 障がい者総合支援法が改正され、第5期障がい者保健福祉計画が策定された。障がい者福祉の現状と課題は。

A 指定障害福祉サービス事業所は市内・浜田圏域でも増えており、必要なサービスはほぼ提供できている。ただ、福祉施設入所者の地域生活への移行が困難な状況や、就労継続支援サービスでの一般就労がなかなかできない状況がある。また、相談支援事業所の数や相談支援専門員が少ない状況がある。

Q これらの課題に対して、今後の取り組みは。

A 知的・身体・精神という3つの障害を一元化してきたため、



永岡 静馬

サービス事業所では得意分野と不得意分野があり、そのスキルアップが大事であると考えられる。また、差別や偏見のない地域づくりのため、「あいサポート研修」の普及や相談窓口の周知を図っていきたい。

障がいを知り、共に生きる

まず、知ることからはじめましょう

島根県・鳥取県

あいサポート研修で使用されるテキスト

Q JR三江線廃止踏切の除却推進を

A 着実に撤去が進むようJR西日本に求めていく



坪内 涼二

A.Q 廃止踏切の現状は。廃止踏切は市道内10カ所、県道内12カ所。路面は廃止以前と変わらず線路がそのまま残っている状況。廃止後は、道路交通法上の一旦停止と安全確認の義務はない。

Q 廃止踏切に起因する事故が発生する危険性もある。速やかに除却を進め、廃止踏切を含めた周辺地域の整備を。

A JR西日本は、占有用地にあるものから撤去していく予定。廃止踏切を含めた周辺地域の整備は、踏切内の段差解消だけでなく、踏切前後の道路線形改良や道路の拡幅改良などが考えられる。今後、JR西日本との協議のなかで対応を検討していく。



撤去が急がれるJR三江線廃止踏切(川戸)

「ドライブレコーダー」

Q 交通事故など事件・事故の早期解決のため、ドライブレコーダー導入経費の助成を。

A 交通安全対策や犯罪抑止につながることは理解しているが、現時点では考えていない。

Q 小中学校の教室へのエアコン設置を

A どこかの時点で実現しなければならぬ



多田 伸治

Q 子どもたちは厳しい夏の暑さのなかで授業を受けているが、状況を把握しているか。

A 扇風機の設置や水分補給での熱中症対策を行っている。平成27年7月の室温調査で、30℃以上が3日あった。文科省が教室の環境基準を30℃以下から28℃以下へと変更しており、条件は厳しくなっている。

Q 浜田市や益田市は教室のエアコン設置を始める。本市でも緊急に予算を補正し、一刻も早くエアコンを設置すべきでは。

A 耐震化や老朽化対策など、限られた財源で優先順位を考えて進める必要がある。

県内8市での普通教室のエアコン設置状況

	教室数	設置済室数	設置率
松江市	771	177	22.9%
安来市	190	156	82.1%
雲南市	193	193	100.0%
出雲市	648	138	21.2%
大田市	166	4	2.4%
江津市	97	4	4.1%
浜田市	227	16	7.0%
益田市	221	22	9.9%

Q 校舎の耐震化はほぼ終わっている。選挙では「エアコンをつけてくれる人ががんばってほしい」と子どもたちからの反響もあった。段階的にも設置するべきではないか。

A 教育現場には様々な課題がある。施政方針で教室へのエアコン設置を検討するとして、どこかの時点で実現しなければならぬ。

Q

中学校卒業までの医療費無料化を

A

本市の財政状況では厳しい

Q

格差拡大で経済的理由から医療にかかれぬ人が急増している。お金の心配なしで病院にかかれるよう、子どもの医療費の中学校卒業までの無料化を。

A

医療費の中学校卒業までの無料化には、年間3000万円から3500万円の経費が毎年必要になる。本市の財政状況では難しい。

Q

医療費無料化で全国的な問題となっている子どもの虫歯や、眼科・耳鼻科の病気の早期治療ができ、本市財政からの医療給付費の削減にもつながるのでは。

A

無料にすれば、コンビニ受診が懸念される。歯科・眼科は学校での検診で予防可能と考



森川 佳英

Q

本市の年間予算約150億円から、子どもの医療費無料化拡充へ優先配分すべきでは。

A

本市では国民健康保険への支援を優先し、国民健康保険会計へ2億5000万円の法定外繰出を行った。子どもの医療費無料化は国が制度を確立すべきで、国に対して要望している。

全国・市区町村の医療費・無料化実施状況 厚生労働省調査(2016年4月1日現在)

対象年齢	通院	入院
実施市区町村数計	1,741	1,741
6歳まで(小学前)	202	33
7歳から11歳まで	31	7
12歳まで(小学卒)	121	129
15歳まで(中学卒)	1,005	1,169
16歳まで	1	1
18歳まで(高校卒)	378	399
20歳まで	2	2
22歳まで	1	1

所得制限について	所得制限なし	1,432	自治体
	所得制限あり	309	自治体
一部自己負担について	自己負担なし	1,054	自治体
	自己負担あり	687	自治体

Q

地方自治法第1条の2への認識は

A

最小の経費で最高の効果を上げる行政運営を目指す

Q

住民の福祉充実や自主的・総合的な行政運営とは。

A

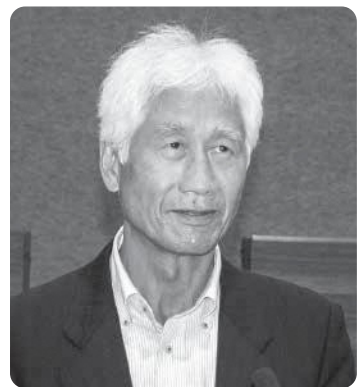
地方自治法では住民の権利の充実や自主的・自立性の強化、効率化と公正確保がうたわれている。そのため、住民福祉・能率化・合理化・法令適合・計画性・相互競合回避の原則に基づき、自主自立を發揮できる行政運営を行っている。

Q

自治事務と法定受託事務については。

A

法定受託事務には、法令により自治体へ委託された是正指示や代執行・生活保護や戸籍事務などがある。自治事務には、法令に沿った義務付け事務や介護保険・障害者福祉サービスがあり、自治体が創意工夫して取り組む公共



森川 和英

A.Q

過疎債の今後は。

過疎債は平成32年度までの時限立法であるため、鳥根県が5月から県内市町村で構成する研究会を立ち上げ、過疎地域における諸問題の調査研究を行い、提言をおこなう。

【地方自治法】

第一条の二 地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。

② 国は、前項の規定の趣旨を達成するため、国においては国際社会における国家としての存立にかかわる事務、全国的に統一して定めることが望ましい国民の諸活動若しくは地方自治に関する基本的な準則に関する事務又は全国的な規模で若しくは全国的な視点に立つて行わなければならない施策及び事業の実施その他の国が本来果たすべき役割を重点的に担い、住民に身近な行政はできる限り地方公共団体にゆだねることを基本として、地方公共団体との間で適切に役割を分担するとともに、地方公共団体に関する制度の策定及び施策の実施に当たって、地方公共団体の自主性及び自立性が十分に発揮されるようにしなければならない。

Q

三江線廃止の教訓点は

A

鉄道事業法が大きなネックであり、行政と地域住民で守ることが大切になる

Q. 鉄道事業法改正を国に要望する考えは。

A. まずは利用促進が大切。鉄道事業法を考える雰囲気は、国会議員の中にもある。法改正も含めて考える必要がある。

Q. バス転換後の、狭い歩道の改善やバス待合所の設置・フリー乗車の実施は。

A. まずは利用促進が大切。鉄道事業法を考える雰囲気は、国会議員の中にもある。法改正も含めて考える必要がある。



廃線前の川戸駅



植田 好雄

A. ほとんどのバス停が路側帯の狭い場所にあるため、バス利用の動向を把握し、鳥根県が道路改良する際に、必要な改善を働きかけていきたい。

【災害に強いまちづくり】

Q. 明星川の暗渠の改善と山水対策を。

A. 暗渠の改良は困難。現状を確認し、必要に応じて土砂撤去を行う。

【島根原発】

Q. 島根原発の問題は「対岸の火事」であってはならない。本市としての対応は。

A. 議論の行方を強い関心を持って注視していきたい。

Q

児童生徒に夢を与える教育の魅力化の推進を

A

県教育委員会が推進する「教育魅力化推進事業」による「県立高校魅力化」を今年度より実施する

Q. 再三提案した「教育魅力化推進事業」への取り組みは。

A. 「教育魅力化推進事業」とは、学校・家庭・地域の連携を図り、小学校・中学校・高等学校・大学の一体的な教育活動や地域の特徴を活かした「教育の魅力化」への市町村の取り組みを鳥根県が支援するもの。平成30年度は、高校魅力化活動交付金500万円と、統括プロデューサー配置費交付金317万円を申請。既に交付決定がされ、江津高校と江津工業高校の魅力化が始まる。

Q. 文化やスポーツも東京一極集中の傾向が強い。本市の子どもたちが本物に触れる機会が必要。その機会となる、「ドリームベースボール」の概要は。

A. 「ドリームベースボール」の概要は。



田中 利徳

A. 自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業によるもので、9月に江津市で開催される。一流選手との交流で、市民の生涯スポーツへの参加促進と、青少年の健全育成を図る。約20人の元プロ野球選手を招くことで、市外からの集客も見込まれる。プレーを身近で見て、直接教わることで、子ども達に将来への夢を与えることにもなる。



江津市民球場

Q 一時保育・休日保育などの受け入れ態勢の充実を

A 保育士確保対策事業を引き続き行っていく

A.Q 保育士確保対策の状況は。

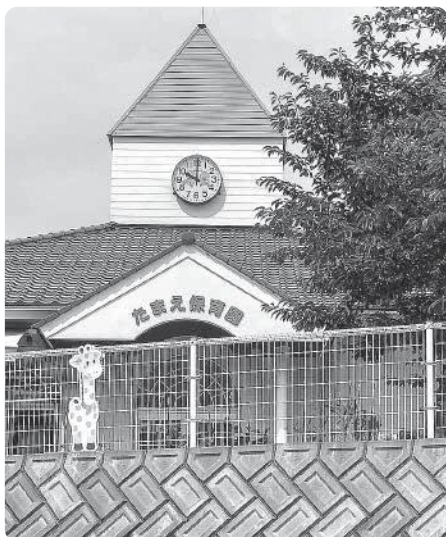
市内の保育所などに新たに就労した場合、1人10万円を交付する。平成28年度は8人、平成29年度は5人に交付。平成30年度は20人分を予算計上。

Q 保育士の産休・育休などに今の人員で対応は可能か。

A 早い段階での人員補充をおこなうため可能。

Q 休日保育の利用の推移は。

A 平成25年度1118人、平成26年度1244人、平成27年度213人、平成28年度150人、平成29年度290人だった。



唯一休日保育を行っている『たまえ保育園』



鍛治 恵巳子

【観光振興】

A.Q 有福温泉の今後は。

旅館や地元・神楽団などと連携を取り、少しでも多くの集客ができるよう検討する。

Q 観光ボランティアガイドの育成を。

A 育成に取り組む必要がある。観光協会とともに検討する。

議員活動レポート



ヒラメの稚魚の放流を行う津宮小学校5年生



ヒラメの稚魚

ヒラメ稚魚放流体験

6月13日、毎年恒例になっているヒラメの稚魚放流体験が行われました。今年は津宮小学校5年生の皆さんと議員8名参加し、ヒラメの稚魚2000匹を塩田海岸に放流しました。栽培漁業の大切さを学び、つくり育てる事業の重要性を体験しました。

表彰

全国市議会議長会

議員特別表彰

(議員20年以上)

永岡 静馬

正副議長一般表彰

(正副議長4年以上)

藤田 厚

中国市議会議長会

議員特別表彰

(議員20年以上)

永岡 静馬

(議員16年以上)

河野 正行

藤田 厚

土井 正人

田中 直文

(議員12年以上)

森脇 悦朗

島田 修二

石橋 孝義

議員普通表彰

(議員8年以上)

多田 伸治

森川 佳英

藤間 義明

正副議長普通表彰

(正副議長3年以上)

田中 直文

人事

監査委員(議会選出)

石橋 孝義



(左から：河野、藤田、田中直、永岡、森脇、石橋、多田、藤間、森川佳)

議会を傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁3階の議会事務局までお越しください。

議会へ参加しよう

議会に対して陳情などを提出することが出来ます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

次回9月定例会

請願・陳情締切／8月22日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
8/19	20	21	22	23 委員会 (議会運営)	24	25
26	27 全員協議会	28	29	30 委員会 (議会運営)	31	9/1
2	3 本会議	4 議員連絡会	5	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8
9	10 委員会 (総務文教)	11 委員会 (建設厚生)	12 委員会 (予算)	13 委員会 (決算特別)	14 委員会 (決算特別)	15
16	17	18 委員会 (決算特別)	19 委員会 (決算特別)	20 情報交換会	21	22
23	24	25 本会議	26	27	28	29

編集後記

改選後、初めての市議会だよりです。市議会だよりとは、市民の皆様へ議会の情報を発信できるツールとして、とても重要なものだと思っております。1期目の4年間もこの市議会だより編集委員会に所属させていただきましたが、前任の2人の委員長がそれぞれ試行錯誤され、確実に進化をきてきています。

この度、市議会だより編集特別委員会委員長に選任され、半数以上が本委員会初めてという中、不安もありますが委員会メンバーと協力しながら、2年間精一杯、とにかく手を取ってもらえる「市議会だより」を目指して頑張っています。

(鍛治恵巳子)

編集・発行責任者

議長 森脇 悦朗

市議会だより編集特別委員会

委員長 鍛治 恵巳子

副委員長 坂手 洋介

委員 植田 好雄

委員 多田 伸治

委員 河野 正行

委員 永岡 静馬